

## 2018年度（平成30年度）上智大学 学部学位授与式 式辞

2018年（平成30年）9月20日

上智大学長 曄道佳明

本日上智大学を巣立つ日を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご父母並びにご関係の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

それぞれの課程における学び、研究を修了された皆さんは、その具体的な成果を実感しておられることと思います。これから次なるステップに歩を進めるということは、その成果を智の基盤として、さらなる継続的な挑戦あるいは新しい挑戦に対峙することを意味します。ここで、この智の基盤について考えてみましょう。ここで言う基盤とは、短期的な対応のための学力の有無を問うているものではありません。今後、より専門性を高め研究を展開する、職を得てプロフェッショナルとしての発展を期す、さらに人生そのものを豊かに充実したものとするための、自分自身の拠り所を意味しています。在学中の学びや研究は、その分野の知識、学力、研究力を高めたばかりでなく、思考のプロセス、課題を見出す視点、解決を導く方法論など、皆さんが社会の中で様々な役割を担う際の多彩な力の源泉として蓄えられたものなのです。大学、大学院での経験は、次なる挑戦に向き合うとき、その第一歩を踏み出す力、未知の分野に切り込むための智的基盤となります。

このことを踏まえて、皆さんの今後の展望について少し考えてみましょう。展望する対象は二つあると考えられます。一つは社会に代表される自分を取り巻く環境の展望であり、もう一つは自分自身の展望です。社会はどのように移り変わり、自分自身はその変化にどのように対応していくことになるのでしょうか。これからは、常に新しい学びの機会が訪れる時代です。プロフェッショナルといえども、一つの分野、業種、職種に対する蓄えが、向こう30年、40年有効であるということはまずなからうと思います。AI, IoT, ビッグデータ解析などの新しいデジタル技術は、社会を根本から変化させることでしょう。この技術革新は、ビジネス、政治、行政、医療、福祉など、あらゆる分野に変化を促します。産業構造や就業様態の変化は、社会の規範や理念までを動かしかねません。

このような変化の時代を生き抜く人材に求められる資質は、柔軟な対応力であるといえるでしょう。積極的な未来展望のもとで、社会の変化を察知し、あるいは変化を起こすことで、新しい局面を切り開いていく気概と挑戦が求められます。この気概や挑戦は、何に支えられて生み出されるのでしょうか？それこそが、皆さんが上智のキャンパスで磨いた智の基盤であろうと思います。基盤があればこそ、柔軟な対応力が生まれます。社会の変化に対応していくということは、まさに蓄えた智の基盤を発揮することを意味します。皆さんがこのキャンパスで経験した、学びのプロセス、課題にアプローチする方法論、解決の導き方やその検証方法などの修得は、単なる蓄積であってはなりません。

それを発揮すること、つまり応用力として発展させることが求められます。その成果を社会に還元することが、学びや研究の意義であり、同時に皆さんの人生を彩りのあるものに、また深みを与えることになるのです。

もちろん、皆さんの学生生活は教室やフィールドでの学びや研究だけではなくでしょう。人間関係の構築、自分自身への様々な問いかけ、新しい経験や体験など、上智大学のキャンパス内外で修得したものは計り知れないと思います。しかしこれらもまた、広義の意味で学びといえるのではないのでしょうか。これらすべてが、皆さんにとっての智の基盤となります。智の基盤は、これからさらに育て、進化させ、強固なものにしていく必要があります。変化の時代には、この作業ができるか否かが、柔軟な対応力の創出、また新しい挑戦やそれに向き合う気概の醸成を可能にする鍵になると思われれます。智の基盤は、人それぞれに違う表情を持ちます。決して公約数的な解があるわけではなく、画一、一律的なものではなく、皆さんの学び、経験、思慮から創出される唯一無二のものであるのです。どうぞ皆さんにおかれては、智の基盤のオリジナリティに自信を持ってください。上智のキャンパスで磨かれたそれは、そのこと自体がオリジナリティと高いクオリティを持つものと確信します。

先ほど、鈴木神父（文学部哲学科）からマタイによる福音書の一節が紹介されました。ここで述べられた命とは、皆さんの人生と置き換えることができます。自分のことばかりを考える人は、人生そのものを失うことになるかと説かれています。それは人生を捨てることになるのだと解釈ができます。富を得ても、あるいは世界に君臨しようとも、人生を失うことの代償はこれより大きいものではありません。捨てた人生を買い戻すことはできないのです。この教えは、for Others, with Others の精神に通じるものです。新しい時代、変わりゆく社会の中で活躍する皆さんの人生を彩るキャリアとは、新しい価値を創造し、正しい社会を導き、それを社会や他者に還元するという循環にあります。

最後に、このキャンパスで醸成された皆さんの智の基盤が、踏み出す社会で、他者のために発揮されること、そして、さらに智の基盤を進化させるとき、その思いが他者と共にあることを切に願います。このことこそ、先ほど申し上げた上智のキャンパスで磨かれた智の基盤のオリジナリティであると思うからです。変化の時代に、皆さんの人生が豊かなものとなり、またその豊かさが他者に寄り添う心の豊かさを伴うものであることを祈念して、私の式辞とさせていただきます。